

# 西条市民

## クラブ

### 一般質問

#### 文化財などの効率的な

#### 展示・活用を！

#### 問

本市には、文化財や資料、標本などを展示している社会教育施設が複数あり、各施設において工夫を凝らした展示活動を行っている。しかし、市全体で考えると、同じような展示が複数の施設で行われており、分野ごとに展示物を見ることができないのが現状である。

特に、自然科学系の展示が少ないことから、かつて世界一を誇った市之川鉱山に関する展示を行うなど、本市の特異かつ多様性を有する自然の展示や市全体の自然が一目で分かるような施設が必要であると考ええる。

今後、地域の特性も考慮しながら、分野別に文化財を収蔵する社会教育施設の整備や、

統廃合・再編などにより、効率的かつ積極的な文化財の展示・活用が必要ではないか。

#### 答

市内には、現在、博物館や資料館などの社会教育施設が11施設あり、平成26年度の入館者数は合計で14万8千141名である。

展示内容については、各施設の地域性などを配慮し、現在まで合併時の形態を継続しており、市全体としての所蔵資料の分類整理や類似品の集約が検討課題となっている。合併から10年が経過し、社会教育施設の整理・統廃合や再生を実施するとともに、展示内容の再編や企画展の充実に努めることを第2期西条市総合計画に盛り込んでいる。また、分野別管理と併せて、各施設における収蔵スペースの不足が展示の固定化による資料の劣化や施設の魅力低下につながっていると考えている。

このような中、平成27年4月から旧西条・東予勤労福祉会館を埋蔵文化財整理保存施設として活用することになり、各施設に散在している埋蔵文化財などを集約し、一元管理

する見通しがついたところである。

平成27年度に学芸員を充実させたことから、今後は、その専門性を生かした企画展の開催や、分野別管理などにより特色を打ち出した各施設の魅力を積極的にPRすることで、市内外からの入館者の増加や、リピーターの確保につながる施設運営、更には市民が郷土の歴史や文化に触れる機会を拡充していきたいと考えている。



西条市立東予郷土館図書館の展示の様子

# 会派に 属さない議員

### 一般質問

#### 安全保障関連法案に

#### 反対表明を！

#### 問

平成27年8月30日には、安全保障関連法案の廃案を迫り、国会周辺に12万人、全国では100か所以上で数十万人の集結があった。また、岩手県知事をはじめとする地方自治体の長も反対を表明しており、本市においても、日本共産党、民主党、新社会党、各種団体などによる党派を超えての合同街頭宣伝が市民注視の下に行われている。

市長は、安全保障関連法案反対の国民の声をどのように受け止めているのか。また、国民の平和と安全を守る先頭に立つべく、この法案に反対を表明するべきではないか。

#### 答

今回、平和安全法制整備法などが論議される

ようになり、関心が薄かった人々、特に若者が自分たちの意見表示を行い、真剣に国の将来を考え始めたものと感じている。

国家の平和は、地方自治の根幹を成すものであり、紛争を解決する手段としては、外交努力により平和的な解決を図るべきである。しかし、現在、我が国を取り巻く安全保障環境が大きく変化している中、国民の生命と財産を守るため、現実起こりうる事態に備え、可能な法整備など、国として対応を取る必要があると考えている。

なお、安全保障制度については、国の専権事項であり、国の責任において対応すべき問題であると考えている。

#### 活用の考えは？

#### 市内の名所・景勝地

#### 問

世界的にも有名で学術的価値の高い市之川鉱山跡地や、平成16年の台風の影響により遊歩道などが崩壊し、現在、通行不能となっている「津越の滝」を観光資源として活用する考えはないか。